

まちの数字いろいろ

町勢要覧「本編」では写真を交え、まちについて紹介していますが、この「資料編」ではまちの現状を数字で詳しく紹介します。

上毛町は平成17年に新吉富村と大平村が合併して誕生しました。

上毛町では、平成19年に「第1次上毛町総合計画」を、平成29年に「第2次上毛町総合計画」を策定し、目標の実現に向けた様々な施策を実施しています。そして、その施策を決めるにあたり、よりどころとなるのが「数字」です。

過去と現在を見ることで、将来の姿が浮かび上がってきます。

上毛町が「九州「輝く町」」になるために何をすべきか、ヒントがあるはずです。

それでは
見ていきましょう



もくじ

まちの概要……………	01
まちの人口……………	02
まちの生活……………	03
まちの産業構造・農業……………	04
まちの工業・商業……………	05
まちの財政……………	06
まちの財政・職員数……………	07
まちの行政・防災……………	08
まちの施設情報……………	09



まちの沿革

古くは三毛郡(みけのこおり)と呼ばれていたこの地域は、後に山国川を境に上三毛郡と下三毛郡に分けられ、その後、上毛郡、下毛郡となりました。本町の町名はこの旧郡名を由来としています。

明治22年(1889年)

町村制の施行により、南吉富村、西吉富村、友枝村、唐原村が発足。

昭和30年(1955年)

南吉富村と西吉富村、友枝村と唐原村がそれぞれ合併し、新吉富村、大平村が発足。

平成17年(2005年)

新吉富村と大平村が合併し上毛町が発足。



まちの面積いろいろ

総面積	耕地	宅地	森林
62.44km ²	9.97km ² (16.0%)	2.71km ² (4.3%)	38.64km ² (61.9%)

まちの地勢・気候

上毛町は、福岡県の東端に位置し、東は山国川、南は雁股山・大平山を境に大分県中津市、西は豊前市、北は吉富町と接しており、生活面においては、中津市を中心とする生活圏を有しています。総面積は62.44平方キロメートルあり、地形的には、東西を山国川・佐井川に挟まれ、南の山間部に向かい、三角形に広がっています。山間部を除いて、起伏は少なく、おおむねならかな田園地帯です。

気候は穏やかな瀬戸内海式に属し、九州でもっとも雨の少ない地域のひとつとなっています。地目別には森林、耕地が大半を占め、中津市などの都市部に近接していても、田園と林野を主体に、緑が多く残された土地利用となっており、都市と自然のバランスのとれた構造となっています。

交通では、町内を東九州自動車道、国道10号が通っており、また、上毛パーキングエリア・スマートインターチェンジが平成27年3月から供用開始となったため、新たな交通の拠点としての発展が期待されています。

県境を流れる山国川と山間部から広がる豊かな緑、そこに点在する棚田、町の中央を流れる友枝川や里山といった資源に恵まれると共に、中津市に隣接する立地条件から、都市としての利便性、住みやすさも有しています。このように自然・田園・都市が近接・共存する上毛町は3つの良さを享受できる恵まれた生活環境にあると言えます。



まちの概要

概要

人口

生活

産業

農業

工業

商業

財政

財政

職員数

行政

防災

施設情報